

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	ネットワーク維持業務	コード	01-01-17-03	企画課 情報政策班
事業実施期間	H13~	担当係	担当者	谷本 隆二
総合計画事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり	電話	64-1812
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	情報通信		
	施策	公共システムなどの安全性の確保		

事業について	
目的	備前市情報ネットワーク(市内の行政施設や学校を光ファイバーまたはADSLフレッツグループで接続した公共ネットワーク)のハード面の維持
対象(誰のために)	市民、児童・生徒(狭義には市役所、学校等のため)
内容	プロバイダ料、フレッツグループ料、自設線(光ファイバ)保守、電柱添架料、光ファイバ保険など

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
通信運搬(プロバイダ等)			
光ファイバ保険			
自設線保守業務			
光ファイバ電柱共架料等			

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	14,096	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	5,700	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	19,796	一般財源等	19,796	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.75	人
結果指標①	結果指標名	ネットワーク異常停止
	結果指標量	トラブル 0件
	単位	
	対前年比	—
	事業費	円
	単位当たりコスト①	円
結果指標②	結果指標名	通信機器異常等
	結果指標量	トラブル2件
	単位	
	対前年比	—
	事業費	円
	単位当たりコスト②	円

事業の成果			
成果指標名	安定稼働(トラブル発生回数) 2回	式又は説明	落雷に起因されると思われる週明日のフレッツグループネットワーク不良 (一部施設の通信機器トラブルのためネットワーク全体としての異常停止ではない。また島HUBトラブルなど小さなものも除く。)
成果指標量	17年度		
	2回		
対前年比	—		
到達目標値	0回	到達目標年度	

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	市及び学校の運営のためには欠かせない基盤である。
評価区分	<A~E>
	A

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	休日前にはフレッツグループ各施設においてルーター電源を落とすなど落雷対策を指示	H17.5	週明けのトラブル発生率が下がる
効率性	接続トラブルを起こしたときのフレッツグループ各施設での対応マニュアル(再起動方法など)を提示	H17.5	通信機器の再起動程度の対策となりトラブルとまで認識しなくてよいレベルになる
効率性	島HUBなど卑近なトラブル対処についてはITリーダー講習等で啓蒙	H17.8	即戦力の期待は過度であるが、講習の積み重ねによって職員資質の向上でトラブルの未然回避も可能になるものと期待。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。